取扱説明書

給水・給湯、排水管、冷温水管、ケーブルの
防火区画貫通部耐火措置工法部材

耐火プラグネオテープ

IRG-55T

4 518301 065438

お客様へ
- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ
- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください（正しく安全に使用いただくために）

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

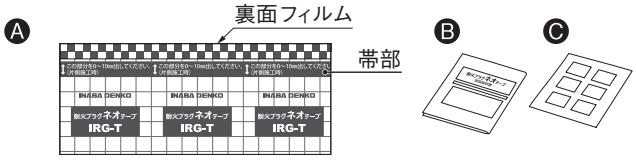
⚠警告	**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。**
⚠注意	**取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。**

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠警告	国土交通大臣認定書及び（一財）日本消防設備安全センター評定書の仕様に基づき、正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書及び（一財）日本消防設備安全センター評定書については、右記のQRコードを確認してください。 国土交通大臣認定書 （一財）日本消防設備安全センター評定書
⚠注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。

お願い	※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。 ● 配管の種類やサイズによって巻きつけ方が異なります。 （右記のQRコードより適用範囲概要を確認してください。） ● ケーブル貫通に使用する場合は、内線規定に基づいて行ってください。 ● 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかり固定してください。 適用範囲概要

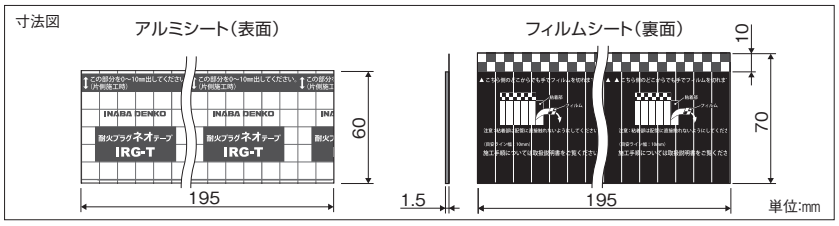
2.セット明細（各部名称）

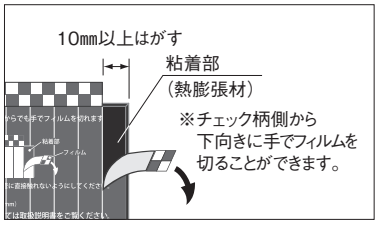


■ セット内容

記号	部品名	数量
A	耐火プラグ　ネオテープ	1
B	取扱説明書	1
C	国土交通大臣認定品表示シール	1枚

3.製品仕様





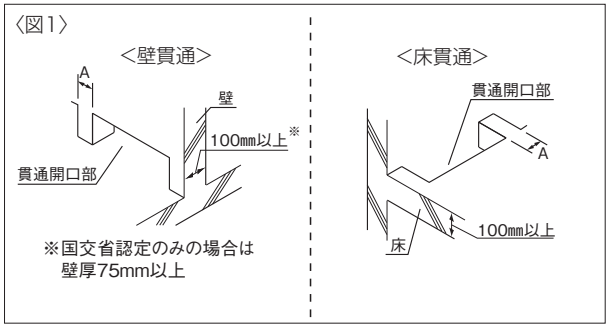
《施工手順》

■ 壁（中空壁・片壁を除く）・床（中空床を除く） の場合

①貫通開口部の設定

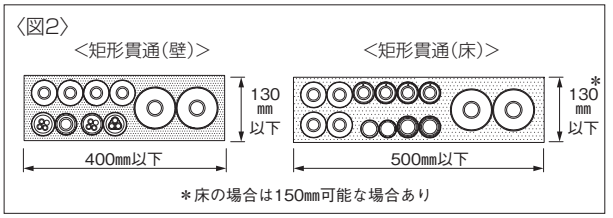
配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。（図1）

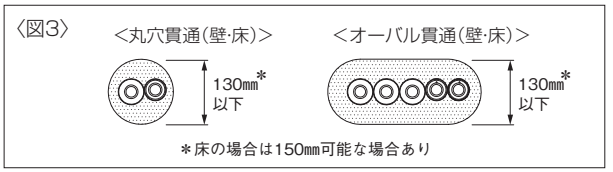
〈注意〉消防共住区画評定における住戸と住戸間の貫通の場合、開口部ピッチAは、それぞれの貫通穴の面積を円に換算し、大きいほうの円の直径以上(当該換算した直径が200mm以下の場合は200mm以上)あける必要があります。



〈注意〉矩形の場合は壁 130×400mm 以下になるように開口部を設けてください。床は、認定によって開口の寸法が異なるため、カタログ、認定書を参照してください。（図2）

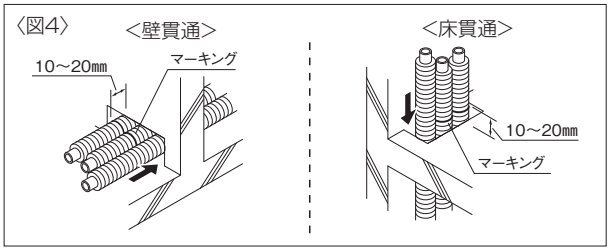
〈注意〉丸穴の場合は、占積率を考慮し、開口径は壁φ130 以下、床φ130（φ150 が可能な場合あり）以下にしてください。
オーバル形状の場合は矩形開口寸法以内に入るようにしてください。（図3）





②配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定し、壁面・床上面から10～20mmの位置にマーキングをしてください。（図4）



③IRG-55T（以下、IRG-Tと称す）の巻き付け

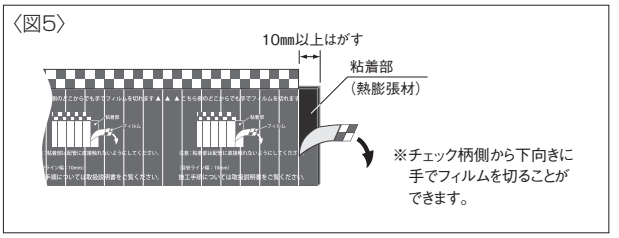
裏側のフィルムをオーバーラップさせる分（10mm以上）を剥がし（図5）、配管に沿うようにIRG-Tを巻き付けてください。（図6）
低温時に粘着力が下がりIRG-T自体が硬くなる場合がありますが、配管に巻き付けたIRG-Tを手で圧力を加え温めながらしっかりと巻き付けてください。
粘着部に汚れが付いて粘着しなくなった場合は、別途テープで貼り付けて固定しても問題ありません。

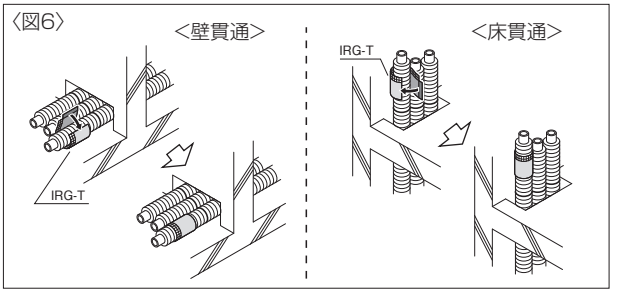
〈注意〉このとき、IRG-Tと配管との間にすき間がないように気を付けてください。

〈注意〉フィルムを切り取りすぎて粘着部が配管に直接触れないようにしてください。

〈注意〉粘着部にホコリや油など汚れが付着しないようにしてください。
粘着しなくなるおそれがあります。

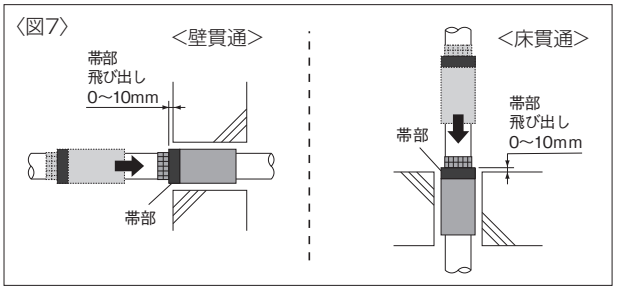
〈注意〉床貫通の消防評定工法には各巻き付け方を連結する工法もあります。 ⇒ P3 <連結施工方法>参照
配管の種類によって異なりますので、認定書、評定書またはカタログなどの適用配管表を確認してください。





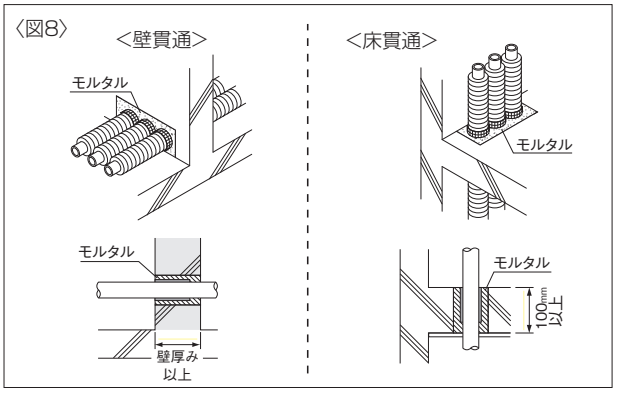
④IRG-Tのスライド

開口面から帯部が0～10㎜出るようにスライドさせてください。
※裏側フィルム先端を配管のマーキングまでスライドさせる。（図7）



⑤埋め戻し

貫通開口部と配管のすき間をモルタルで埋め戻してください。（図8）
埋め戻し部にすき間がないことを確認してください。
床貫通の場合はあて板をあて、モルタルで埋め戻してください。
乾燥後はあて板を取り外してください。

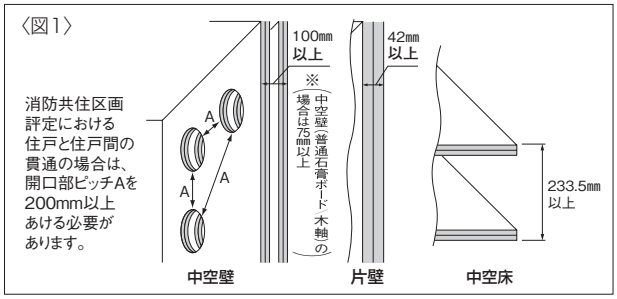


■ 中空壁・片壁・中空床 の場合

①貫通開口部の設定

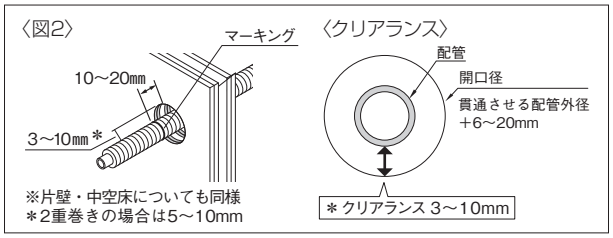
配管サイズ、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

〈注意〉
貫通させる配管外径に6～20mm*加えた値を開口径とします。
*IRG-Tを2重巻きする場合は10～20mm



②配管の設置

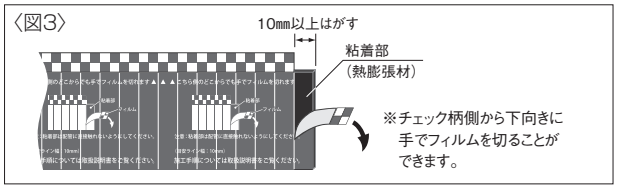
配管の設置を行い、開口穴の縁から 3～10mm* クリアランスを設け、支持・固定し、壁面から 10～20mmの位置にマーキングをしてください。（図 2）

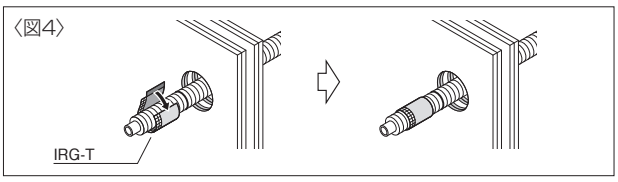


③IRG-55T（以下、IRG-Tと称す）の巻き付け

裏側のフィルムをオーバーラップさせる分（10mm以上）を剥がし（図3）、配管に沿うようにIRG-Tを巻き付けてください。（図4）
低温時に粘着力が下がりIRG-T自体が硬くなる場合がありますが、配管に巻き付けたIRG-Tを手で圧力を加え温めながらしっかりと巻き付けてください。
粘着部に汚れが付いて粘着しなくなった場合は、別途テープで貼り付けて固定しても問題ありません。

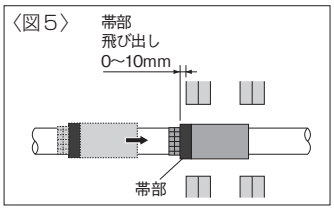
〈注意〉このとき、IRG-Tと配管との間にすき間がないように気を付けてください。
〈注意〉フィルムを切り取りすぎて粘着部が配管に直接触れないようにしてください。
〈注意〉粘着部にホコリや油など汚れが付着しないようにしてください。
粘着しなくなるおそれがあります。





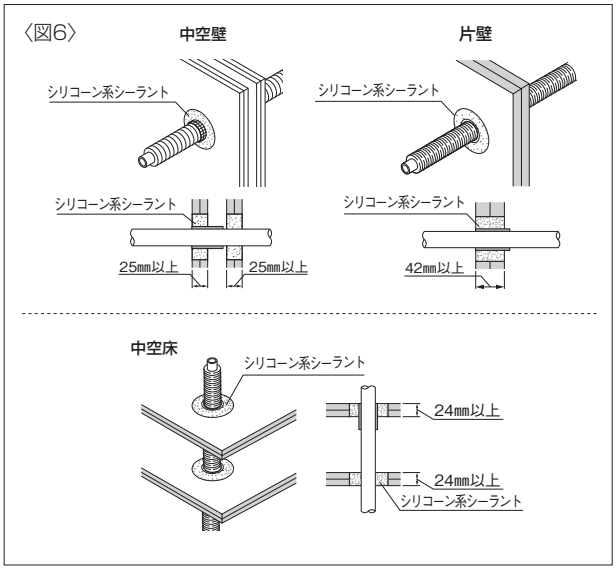
④IRG-Tのスライド

開口面から帯部が0～10mm出るようにスライドさせてください。
※裏側フィルム先端を配管のマーキングまでスライドさせる。（図5）



⑤埋め戻し

貫通開口部と配管のすき間に、壁表面の両側から25mm以上（片壁の場合は42mm以上、中空床の場合は床表面の両側から24mm以上）シリコーン系シーラントで埋め戻しをしてください。（図6）

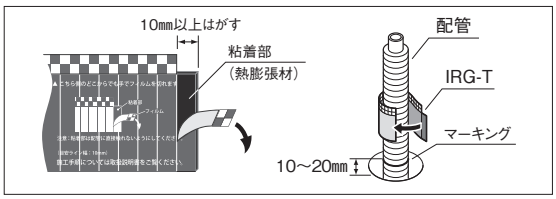


<両側施工方法>

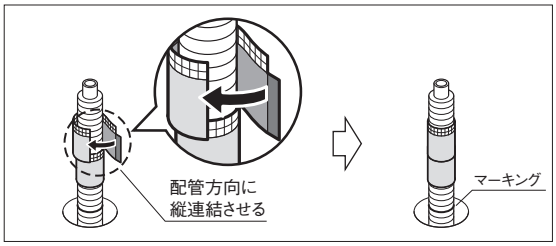
両側施工については、構造によって施工方法が異なりますので、認定書、評定書または WEB 版取説 P.4 を参照して施工してください。

<連結施工方法（ALC床のみ）>

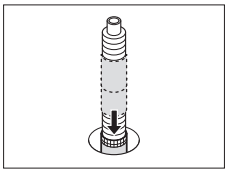
① IRG-Tの裏側フィルムをオーバーラップさせる分（10mm以上）剥がし、配管に沿うように巻き付けてください。
※配管の種類によっては2重巻きする場合もあります。



② 巻き付けたIRG-Tのフィルム部（チェック柄部）の上からもう1枚IRG-Tを連結するように巻き付けてください。
※配管の種類によっては2重巻きする場合もあります。



③ 連結させたIRG-Tをマーキング位置まで配管に沿わせてスライドさせてください。



消防評定一括マーク請求カード

因幡電機産業株式会社 因幡電工カンパニー
営業所 行

FAX（　　）　　－

（注）消防評定一括マークは、共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。
共住区画とは、消防法施行令別表第1（5）ロ項に規定されている「寄宿舎、下宿又は共同住宅」に適用されています。

■『消防評定一括マーク』について

耐火プラグネオテープを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを（一財）日本消防設備安全センターにより確認（性能評定）されています。特定共同住宅等の壁・床（共住区画）でのご使用の際は、必ず性能評定品である旨の表示（評定一括マークまたは評定証票）が必要になります。こちらの請求カードに必要枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評定一括マーク」をお送りいたします。

IRG-55T 耐火プラグネオテープ

※ 上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。
※ 楷書体でご記入ください。
※ 現場単位でまとめて1枚の消防評定一括マーク請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL（　　）　　－

▼ 共住区画のご確認（消防評定一括マークは共住区画に使用される場合のみ必要です）

□　※共住区画であればチェックしてください。

▼ ご請求枚数

消防（共住区画）評定一括マークご請求枚数　（注）評定一括マークは、一つの防火対象物（建築物1棟）に1枚貼付してください。

KK　-　号	枚	KK　-　号	枚	KK　-　号	枚
KK　-　号	枚	KK　-　号	枚	KK　-　号	枚

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事を
ご確認の上でご署名およびご捺印してください。　　㊞

▼ 送付先　※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

貴社名			
所属部署		ご担当者名	
ご住所※	〒		
TEL	（　　）　　－		

因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください
https://www.inaba-denko.com/（最新情報や技術資料など）
https://www.inaba-denko.com/ja/network（営業窓口）
INABA DENKO 動画チャンネルはこちら ▶▶

札幌営業所 ☎(011)209-1784(代) FAX(011)209-1789 / 首都圏3課 ☎(03)5437-7155(代) FAX(03)6778-1938 / 近畿2課 ☎(06)4391-1732(代) FAX(06)7664-9104 / 広域2課（東京） ☎(03)5437-7152(代) FAX(03)6778-1935
仙台営業所 ☎(022)293-1785(代) FAX(022)293-1802 / 横浜営業所 ☎(045)470-1780(代) FAX(045)470-1798 / 広島営業所 ☎(082)545-1132(代) FAX(082)545-1134 / 東京推進課 ☎(03)5437-7151(代) FAX(03)6778-1934
関東営業所 ☎(048)642-1783(代) FAX(048)642-1756 / 名古屋営業所 ☎(052)541-1780(代) FAX(052)541-1791 / 九州1課 ☎(092)283-1751(代) FAX(092)262-1787 / 大阪推進課 ☎(06)4391-1941(代) FAX(06)4391-1920
首都圏1課 ☎(03)5437-7153(代) FAX(03)6778-1936 / 金沢営業所 ☎(076)262-1783(代) FAX(076)262-1787 / 九州2課 ☎(092)283-1785(代) FAX(092)262-1787
首都圏2課 ☎(03)5437-7154(代) FAX(03)6778-1937 / 近畿1課 ☎(06)4391-1940(代) FAX(06)7664-9103 / 広域1課（大阪） ☎(06)4391-1713(代) FAX(06)7664-9105

※商品に関するお問い合せは、
お近くの営業所へお気軽にどうぞ。

20230801